

BRAND>>>

SHOEI

SHOEIのニューヘルメットは、
高機能とお手頃価格を両立。そして何よりも、
独自の顔つきに注目しないわけにはいかない。

REPORT: モルツ
©SHOEI ☎03-5688-5180



トータルバランス抜群な これからスタンダード

MOTO GPで活躍するX-14を筆頭に、ツアラー向けのGT-Air、ライトウェイトが売りのZ-7、コスパに優れるクエストと、現在、4種類のフルフェイスヘルメットを揃えるSHOEI。この度、同社のラインナップに待望の新モデルが追加された。その名も「RYD」だ。

見どころは、なんと言つてもそのシャープなフォルムにある。帽体そのものをコンパクトにしただけでなく、各部のベンチレーションをブロックに仕立てて精悍なツートンカラードに。シェル自体は比較的ブレーン

な形状だが、口元～アゴ周りのデザインはとくに注力されており、引き締まった印象を与えてくれる。

もちろん機能面も抜かりはなく、歪みを低減させた独自のCWR-1

シールドには曇りを抑えるビンロットEVOLレンズを標準装備。このシールドは4段階(最大1mm)で後方に微調整が可能だ。また、ゴムモールは上方と側面で別体とし、密着性を高めることで不快な風切り音を大幅に軽減しているのも特筆点。

価格的にはクエストとZ-7の間に位置するエントリー・モデルではあるものの、空力、快適性、スタイル感と、どこを取りつても高水準な仕上がりとなっている。

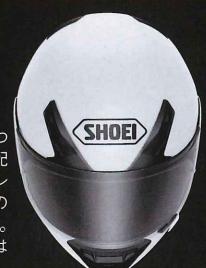
RYD 4万1040円

オレンジ、ホワイト、ブルー、グレー、ブラック、マットブラックの計6色とカラバリは豊富に揃う。サイズはXS(53cm)～XXL(63cm)まで6サイズを用意。JIS規格取得。



主張するニューフェイス

3つのポイントをCHECK!



デザイン
コンシャスな
ベンチ
レーション

▶前後に2か所ずつ
ベンチレーションを配
し、口元にもロアイン
テークを備えて内部の
熱気を効率的に排出。
これらが黒色なのは
RYDのみの設定だ。

クリアな視界を確保
脱着もカンタン!

▲CWF-1シールドは、部位に応じて厚みや曲率を最適化し、自然な視界を確保。また、上下端にリブを設けて、たわみやよじれも解消する。

頭部を優しく包む
内装はフル脱着式

▶3D形状のウレタンパッドをベースに、表面には起毛生地を採用してソフトな被り心地を実現。内装はフル脱着でき、丸洗いも可能。

